

東海大学 文化社会学部

ヨーロッパ・アメリカ学科

ニュースレター

2018年春号



文学部ヨーロッパ文明学科と文学部アメリカ文明学科を引継ぎ、2018年4月から新たに文化社会学部ヨーロッパ・アメリカ学科が始まりました。

ヨーロッパ・アメリカ学科では、西洋世界について、哲学、神話、文学、美術、演劇、キリスト教、科学史、現代史、戦争、民俗学、マイノリティー、ポピュラー・カルチャーなど、さまざまな角度から学ぶことができます。



Sail for the whole Atlantic!

ヨーロッパ・アメリカ学科がスタートしました！



学科の特色は、少人数形式のゼミなど、親身な指導。実地研修などもあり、海外へ旅する学生が多いのも特徴です。とくに留学・外国語の履修については、留学経験のある在学生とともにみんなでサポートする体制が整っています。

ヨーロッパとアメリカを学ぶことを通して、多様化する現代社会において重要な共生の精神を養い、国際的に活躍できる人物を育成することを目指します。

Canada



バンクーバー での三週間

2017年8月にカナダのバンクーバーにあるブリティッシュ・コロンビア大学に3週間留学しました。市の西端に位置するキャンパスには、図書館、博物館、植物園、病院、カフェ、ジム、新渡戸稲造を記念した日本庭園などがあり、大学とは思えないほどのキャンパスの広さ、施設の充実、活気に満ちた雰囲気に圧倒されました。

留学中は、平日の朝から夕方まで大学で勉強し、放課後や休日は友人とダウンタウンで食事やショッピングをしたり、大学主催のアクティビティに参加しました。洗濯をするのは週に1回という文化の違い、気候、食べ物の量や味、バスや電車のルーズさなど、日本の生活との違いに不安を感じ、戸惑うこともありました。それでも大きなトラブルもなく充実した毎日を過ごすことができたのは、ホストファミリーやルームメイト、留学先でできた友人のおかげだと感じています。

バンクーバーの何気ない街並み、壮大な自然、友達とのセルフィー、美味しかった食べ物など、3週間で撮った写真は1500枚以上もあり、写真を見返すと当時の楽しかった記憶が今でも鮮明に蘇り笑顔になれます。

短期間だったので格段に英語のスキルが上がったわけではありませんが、留学したことで英語をもっと学びたいという向上心が生まれ、バンクーバーにまた行きたいという気持ちが勉強のモチベーションとなっています。かけがえのない有意義な時間を過ごせたことは一生の思い出です。

広瀬舞

(アメリカ文明学科3年、静岡県立三島北高校出身)



Repubblica Italiana



ローマの 勉強と休日



私は春休みに1ヶ月間ローマへ語学留学に行きました。大学でイタリア語の授業を履修していましたが、さらに学ぶために、留学を決めました。

最初は全く聞き取れなくて、翻訳ソフトに頼っていました。しかし毎日授業の復習と予習をして、イタリア語漬けの日々を送っていたら、徐々に聞き取れる単語も増え、授業でも発言できるようになりました。午前は学校へ行き、午後はローマ観光や友達とご飯に行きました。初めての海外で、分からないことが多かったので、同じ学校の日本人学生に観光の仕方を教えてもらったり、授業でわからなかったところを聞いたり、支えてもらいながら毎日充実した生活を送ることができました。

家ではドイツ人のルームメイトと、イタリア語と英語を交えて話し、大家さんとはゆっくりですがイタリア語で会話をしました。日常生活でもイタリア語に触れるよう努めました。観光では、多くの美術館や教会へ行きました。大学の授業で習った絵画や彫刻、建築様式など知っている作品が多くあって、楽しく見ることができました。

ティラミスがとてもおいしくて、いろいろなお店をめぐり、自分のお気に入りのティラミスを探すのが楽しかったです。ほかにも人気のジェラテリアに友達と訪れるなど、イタリアのドルチェをたくさん食べることができてとても満足しました。語学だけでなく、ローマの様々な文化に触れることができ、充実した留学になりました。

太田彩月

(ヨーロッパ文明学科3年、浜松日体高校出身)

Bundesrepublik Deutschland



ドイツ留学と 人のつながり

私は大学の派遣留学制度を利用し、ドイツのベルリンへ1ヶ月間の短期留学をしました。

私がドイツで暮らして一番印象に残ったのは、「人の温かさ」と「人との繋がり」です。毎週末ドイツ国内を一人で旅行しましたが、ミュンヘンへ行った際レストランのおじさんと仲良くなりました。日本からドイツ語を勉強しに来たと聞くと喜び、「3、4年後に、次は赤ちゃんを連れてきてね」と言って名前を覚えてくれました。デュッセルドルフでは、同じホテルだった日本人と知り合い、ベテランの社会人として就職をはじめいろいろな相談に乗っていただきました。こうした出会いがたくさんあり、人の温かさや繋がりを実感して、改めて大切なものを見つめ直せたような気がします。

ドイツでは美術館や教会に足繁く通いました。学科の講義で美術作品の見方や教会建築について学んでいたのので、作品のテーマやメッセージが理解できて、友人に解説すると、「知っているのと知らないのではこんなに見方が違うんだね」と驚かれました。知識は生きるということに喜びを感じました。

たった1ヶ月ではありましたが、留学によって成長できたと感じることが沢山あります。これからの人生を含めても、きっと最も刺激的で充実した29日間だと思えます。この体験を糧にドイツ語はもちろん、人間性にも磨きをかけていこうと思いました。

東島李花

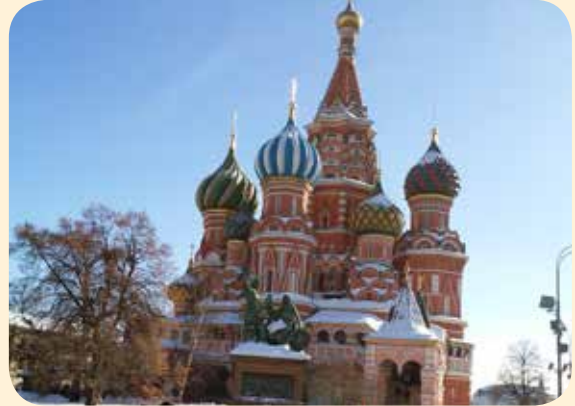
(ヨーロッパ文明学科3年、佐賀学園高校出身)



Российская Федерация



-20°Cの モスクワ留学



今年の3月に私はロシアのモスクワ大学へ約1ヶ月間の語学留学に行きました。日本も大雪に見舞われましたが、ロシアも厳冬で、3月にここまで寒く、雪が残るのは珍しいと現地の人も話すほどでした。-20°Cの寒さを何度か体験するなど、冬のロシアを存分に味わえました。

ロシア語は東海大学で2年間基礎文法を勉強し、授業外でも退官された先生に個人講座を受けて留学に臨みました。しかし、ロシアに着くと自分の未熟さを思い知らされました。

当然のことながら授業、生活すべてがロシア語で、日常生活で英語はほぼ使えません。極めて簡単な表現でも、聞き取り応えるのに四苦八苦しました。それでも週を重ねるごとに理解度が向上していき、最終週には自信を持てるようになりました。

留学当初は身の回りのことで手一杯でしたが、余裕が出てくると様々なところに気付けるようになり、中でもロシア人の人となりを観察していると発見がありました。一見不愛想な人でも、Здравствуйтеと挨拶して、片言でもロシア語を話せば親切に対応してくれますし、明るく気さくな面を垣間見ることができました。

今回の留学は仲間にも恵まれ、充実した環境で自分のロシア語を見直す良い機会になりました。また、直接ロシアを体験することでロシアについての興味関心がさらに強くなり、今後の学習のモチベーションに繋がる有意義な留学となりました。

廣瀬和樹

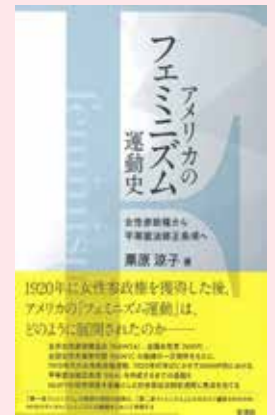
(ヨーロッパ文明学科3年、高校卒業認定試験取得)

教員の新刊紹介

栗原涼子『アメリカのフェミニズム運動史：女性参政権から平等憲法修正条項へ』彩流社，2018.

アメリカでは、1920年に女性参政権が憲法修正第19条として成立しました。第一次世界大戦中および戦後に、全米女性参政権協会 (NAWSA)、全国女性有権者同盟 (NLWV)、全国女性党 (NWP) などが、それぞれの思想と方法で女性の政治参加を進めました。

女性参政権運動を中心とした「第一波フェミニズム運動」は、1960年代後半から1970年代前半の「第二波フェミニズム運動」にどのような影響を与えたのでしょうか。本書は、セクシャリティ、家父長制、家事労働有償化などを理論化したニューヨークの「ラディカルフェミニズム」の組織をとおして考察しました。LGBTなど多様なセクシャリティや人種・民族を包摂した「多文化フェミニズム」、国境を越えて展開する「グローバルフェミニズム」がどのようにして誕生したのか、その歴史背景を考えるきっかけとなれば幸いです。



新任教員の紹介

飯尾唯紀 准教授（東中欧史、地域研究）



ハンガリーを中心とした「東中欧」の近世・近代史を研究しています。ハプスブルク朝、貴族と農民、教会組織が絡み合いながら社会秩序を創り出した過程を描ききりたいと考えています。

ここ数年は、ウィーン宮廷におけるプロテスタント使節の活動や、地方社会における河川をめぐる権力関係の解明に取り組んでいます。夏と春には、地方教会の文書館をめぐったり、昔の用水跡などを探って、古老の話を聞いたりするのが楽しみです。

また最近では、現在のヨーロッパ東部にハプスブルク君主国の遺産がどのような影響力を及ぼしているか、という問題にも関心を広げています。国境を超えてひろがる教会ネットワークの活性化やマイノリティーの問題、歴史遺産や記憶をめぐる課題など、研究したい課題は山積み（のまま）です。

東海大学文化社会学部 ヨーロッパ・アメリカ学科

■お問い合わせ・資料請求などは下記まで

〒259-1292 神奈川県平塚市北金目 4-1-1 東海大学湘南キャンパス

TEL：0463-58-1211（代表）→内線 4102（3号館 4階文化社会学部事務室）

■WEBで学科情報を配信しています

http://www.u-tokai.ac.jp/academics/undergraduate/cultural_and_social_studies/（東海大学文化社会学部）

<http://www.europe.u-tokai.ac.jp/>（ヨーロッパ・アメリカ学科）

■オープンキャンパスにぜひお越しください。詳細は <http://www.tokai-adm.jp/opencampus/>

・2018年6月17日（日）担当：金沢百枝、河島思朗

・2018年8月11日（祝）担当：栗原涼子、金沢百枝

・2018年7月22日（日）担当：石井泉美、丸山雄生

・2018年11月3日（祝）担当：原基晶、飯尾唯紀

（東海大学建学祭の期間中です）

ヨーロッパ・アメリカ学科の教員による出張講義などのご要望にもお応えいたします。お問い合わせは下記まで。

発行責任者：金沢百枝（かなざわ ももえ：ヨーロッパ・アメリカ学科主任）momokanazawa@tokai.ac.jp

